

令和2年羽島市長選挙 候補者アンケート

松井 聡 氏 アンケートのご回答

1) NPO・市民活動団体について(200字以内)

現代社会では社会的課題が多様化し、課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体が活躍しており、羽島市でも市民活動団体登録がされています。NPO・市民活動団体に期待していることはありますか。あなたのお考えを聞かせてください。

当市では、市民を主体としたまちづくりの実現を図るため、平成28年度より「羽島市まちづくり基本条例」を施行しています。市内で活動するNPO・市民活動団体は、協働のまちづくりにおける大切な担い手であり、同団体がそれぞれの分野の専門的な知識や経験を活かし、行政だけでは解決できない課題に柔軟に対応していくことが必要不可欠であると考えております。

2) NPO・市民活動団体の協働について(200字以内)

羽島市まちづくり基本条例では、第13条において「市民、議会及び市長等は、相互の役割と責務を認め合いながら、協力、連携してまちづくりに取り組むよう努めます。」と定めております。協働を推進するために羽島市にはどのような施策や仕組みが必要だと思いますか。

令和元年11月に実施した同条例に関する市民意識調査では、協働によるまちづくりを推進するために、「市民の意見や要望が反映される仕組みづくり」や「市政情報を広く周知するための情報発信」を求める意見が多く寄せられています。これらの結果を踏まえ、これまで以上に市民参画の機会を充実させるとともに、市政における的確な情報公開及びさまざまな媒体を活用した情報発信に努めていく必要があると考えております。

3) 市民活動を活性化する施策について(200字以内)

羽島市の「市民協働によるまちづくり補助金」は2019年に役割を終えられましたが、今後の市民活動をさらに活性化する施策について、あなたの考えをお聞かせください。

多くの市民の方に、日頃から市政や地域課題等に関心を持ち、自分ごととして捉えていただけるよう、当市が実施する市民活動団体登録制度を活用し、団体間の連携及び情報交流の促進を図ってまいります。また、地域課題等を解決するため、NPO・市民活動団体の個性や資源等を提供し合うことで、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を行政とともに果たしていただければと考えております。

ご協力ありがとうございました。